

2026年5月22日

国立印刷局の工芸官による特別講義を5/29（金）開催

～ 日本銀行券と国立印刷局工芸官の技巧 ～



札幌大谷大学



国立印刷局
National Printing Bureau

国立印刷局は、2026年5月29日（金）に札幌大谷大学（所在地：札幌市東区北16条東9丁目1番1号/学長：千葉 潤）にて、国立印刷局の工芸官の特別講義を実施します。特別講義の開催は、北海道初となります。

【開催詳細】

■日 時：2026年5月29日（金）

10:00~12:20 特別講義「凹版彫刻技術分野」、工芸官による凹版彫刻の実演

13:20~15:20 工芸官による実技指導

■開催場所：札幌大谷大学（札幌市東区北16条東9丁目1番1号）

C棟 C218教室

■受講対象：札幌大谷大学 芸術学部美術学科版画専攻学生

（※聴講のみ専攻問わず可）



過去の特別講義の様子



国立印刷局より

国立印刷局は、日本銀行券の製造をはじめ、官報、パスポートなど国民生活に密着した製品を製造している組織です。当法人は、明治4年（1871年）に大蔵省紙幣司として創設され、国民の皆様からの「信頼」に支えられ、令和3年に創立150年を迎えました。国立印刷局には、「工芸官」と呼ばれる専門職員が在籍しており、国民経済に不可欠なインフラストラクチャーである日本銀行券やパスポート等のデザインや原版の製造を担っております。

国立印刷局が製造する日本銀行券などの原版作製では、現在も工芸官による手仕事の中核をなしており、ビュランという金属の細密彫刻に適した専用の彫刻刀が用いられます。このビュランを使いこなすには熟練を要し、長い年月と根気が必要とされます。この講義では、国立印刷局の工芸官がどの様に緻密な画線を彫り進めているかを知ることができます。

そして、令和4年度から国内の芸術系・美術系大学の学生を対象として、工芸官の高い技術と細密な彫刻を次世代に伝え継承すること、美術や芸術を学ぶ学生のキャリアプランの可能性や選択肢等を提供する機会として特別講義を実施してきております。

令和7年度までに16大学、1専門学校及び1工芸高校において、特別講義を開催してまいりました。

担当教員 札幌大谷大学 芸術学部美術学科 吉田 潤 講師（版画専攻）のコメント

この度、国立印刷局との協働で行われる特別講義「凹版彫刻実演実技特別指導」では、紙幣や証券印刷に用いられるエングレービングの実演・指導を通じて、その高度な技術と芸術性に触れます。精緻な線によって豊かな表現を生み出す本技法は、「彫る」行為によって独自の思考と身体性を伴う表現を学ぶうえで、非常に貴重な機会となります。学生一人ひとりが自身の制作と向き合い、版画表現の新たな可能性を広げていく契機となることを期待しています。

札幌大谷大学 副学長・芸術学部長 平向 功一 教授のコメント

本学は、北海道初の私立高等女学校を発祥とした学校法人札幌大谷学園に由来し、1906年（明治39年）の私立北海女学校の創立から120年を迎えます。日本仏教の大成者親鸞聖人のみ教えを建学の精神とし、「生ききれない命はひとつもない」という理念に基づき、自発性・自立性に富んだ教育を実践しております。

こういった教育観から、北海道内で唯一の芸術学部を擁する高等教育機関として、芸術の分野において内面からあふれ出る表現のエネルギーをさまざまな手法において発揮し、人々を幸せにする芸術家を育成し、北海道の地から日本・世界で活躍する人材の輩出を目指しています。

現在、美術学科は油彩、日本画、版画、立体、写真・映像・メディアアート、グラフィック・イラスト、情報・プロダクトデザイン、ファッション・デジタルファブリケーションの各専攻分野にて高度な専門教育を行っており、今回の特別講義もその一環となります。

また、2027年度からは、大学名称を「札幌芸術大学」とし、学科も美術学科・デザイン学科の2学科体制に改組いたします。これまで培ってきたファインアートの確かな学びを基礎として、デザイン（メディアアート、ソーシャルデザイン）を専門とする学科を新設し、時代の要請に応えてまいります。